

安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2024/03/01

1. 化学品及び会社情報

製品名:	高純度しゅう酸ナトリウム 容量分析用標準物質しゅう酸ナトリウム
会社名:	高杉製薬株式会社
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号:	092-621-1231
FAX番号:	092-621-6269
推奨用途:	一般工業用途
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2A <H319>

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H319 強い眼刺激

注意書き:

[安全対策] P264 取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。<H319>
P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。<H319>

[応急措置] P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<H319>
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。<H319>

[保管] Pコード該当なし

[廃棄] Pコード該当なし
(推奨) 内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄する。

他の危険有害性: 情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	単一製品
化学名又は一般名:	しゅう酸ナトリウム
別名:	しゅう酸ソーダ、シュウ酸二ナトリウム
化学式又は構造式:	(COONa) ₂ 、NaOCOCOO Na
分子量:	133.999
濃度又は濃度範囲:	99.5 % ≤ しゅう酸ナトリウム
CAS 登録番号(CAS RN®):	62-76-0
官報公示整理番号:	化審法 (2)-922/安衛法 既存
危険有害成分:	しゅう酸ナトリウム

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:	医師の診察/手当てを受けること。 化学物質が除去されるまで、多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 医師の診察/手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。 医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤:	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤:	棒状放水
特有の危険有害性:	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法:	移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護:	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収・中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材:	情報なし
二次災害の防止策:	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 眼に入れないこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 粉じん、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件:	容器を密閉して冷乾所にて保存すること。
混触禁止物質:	データなし
容器包装材料:	ポリエチレン、ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会(2007年版):	設定されていない
米国産業衛生専門家会議(ACGIH)(2007年版):	設定されていない
設備対策:	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具:	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状:	結晶状粉末
色:	白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	データなし
融点・凝固点:	250~270 °C
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	引火せず
自然発火温度:	データなし
燃焼性(固体、ガス):	不燃性
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
比重:	2.27
溶解度:	データなし
n-オクタノール/水分配係数:	log Pow = -7.00(推定値)
分解温度:	データなし
粘度(粘性率):	データなし
粉じん爆発下限濃度:	データなし
最小発火エネルギー:	データなし
体積抵抗率(導電率):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口:	区分に該当しない: CAS番号: 62-76-0(毒性値=11160mg/kg 含有率=100% 出典: NITE) 既知の成分がすべて区分に該当しないのため、区分に該当しないに該当。
経皮:	データなし
吸入(ガス):	GHSの定義における固体。
吸入(蒸気):	データなし
吸入(粉じん):	データなし
吸入(ミスト):	データなし
皮膚腐食性・刺激性:	データなし しゅう酸(CAS RN®144-62-7)に準じて皮膚刺激性を示す可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	ECETOC TR48(2)(1998)のウサギの試験では、最終観察日である処置後14日目において3匹中2匹はほぼ回復したものの、残る1匹にはあまり回復がみられなかった。処置後21日目における回復具合のデータはないが、処置後24、48、72時間目のドレイズスコアの平均値、並びに処置後7日目において3匹とも完全な回復はみられなかったことから、区分2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性:	データなし

皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
誤えん有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性):	データ不足のため分類できない
水生環境有害性(長期間):	データ不足のため分類できない
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層破壊物質:	当該物質はモントリオール議定書の附属書に記載されていない。
他の有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	該当しない
品名(国連輸送名):	該当しない
国連分類:	該当しない
容器等級:	該当しない
海洋汚染物質:	該当しない
国内規制	
陸上規制情報:	毒物及び劇物取締法、道路法の規制に従う。
海上規制情報:	該当しない
航空規制情報:	該当しない
特別な安全対策:	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号:	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	劇物(指定令第2条, 政令番号62, 砒酸塩類及びこれを含有する製剤)
大気汚染防止法:	該当しない
土壤汚染対策法:	該当しない
水質汚濁防止法:	該当しない
海洋汚染防止法:	該当しない
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
道路法:	車両の通行の制限(施行令第19条の13, (独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
化学物質管理促進法(PRTR法):	該当しない
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2917.11】

16. その他の情報

参考文献:

1. 毒劇物基準関係通知集、改訂増補版 厚生省薬務局安全課監修 薬務広報社(1991)
2. 産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版(株)(1977)
3. 化学大辞典 共立出版(1993)
4. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2003)
5. The Merck Index 13th Edition Merck & Co., Inc(2001)
6. 増補新版 化学品安全管理データブック 化学工業日報社(1996)
7. 15911の化学商品(2011年版) 化学工業日報社
8. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)
9. NITE-Gmiccs(Ver.2.0.0)収載化学物質一覧(20220331更新版)
10. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース株式会社
11. GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省

改訂情報:

旧版(2023年6月1日付け)からの改訂点は、「1.製品及び会社情報」への「推奨用途」「使用上の制限」の追加である。

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。